



男鹿市雲昌寺境内いっばいに咲くあじさい

# 秋田更生保護

第 74 号  
発行所  
秋田市山王7-1-2

更生保護法人  
秋田県更生保護援護協会  
(編集)  
秋田県更生保護編集委員会  
(題字)  
小 熊 良 悦  
(印刷)  
(株)アクティス

令和3年8月1日現在  
保護司数 679名

## 目 次

巻頭言.....	1	秋田県就労支援事業者機構.....	5
更生保護関係団体の動き.....	2	秋田保護観察所人事異動.....	5
秋田県更生保護援護協会.....	2	転入者のあいさつ.....	5
秋田県保護司会連合会.....	2	第71回 社会を明るくする運動.....	6
退任の挨拶.....	3	一筆啓上.....	7
就任の挨拶.....	3	秋田保護観察所.....	7
秋田県更生保護女性連盟.....	4	栄誉に輝く叙勲・褒章.....	8
秋田至仁会.....	4	保護司の異動.....	8
秋田県BBS連盟.....	4	編集後記.....	8



## 着任挨拶

秋田保護観察所長 山田 通 晴

更生保護関係者の皆様には、安全・安心な地域社会の構築のため日々御尽力されておりますことに、心より敬意と謝意を表します。共に歩めることに感謝し、更生保護事業の発展と安全・安心な地域社会づくりを全力を尽くして参りたいと思います。

さて、昨年度、特に保護司会の皆様には、保護司適任者確保の取組に御尽力いただき、深く感謝申し上げます。お蔭様で全体目標を大きく上回る事ができました。これは偏に重点地区保護司会を始め各地区保護司会の皆様方の御努力の賜物と思えます。

しかしながら、向後8年間で約300名の方が年齢基準で退任されますので、これからが正念場となります。とりわけ若年層の適任者確保が急務であります。若年層の確保は、多様な人材に働きかけることとなりますので、ライフスタイル等の違う方を受け入れることとなります。その方々を含め活動環境をいかに整えるかが今後の課題になるかと思いま

す。

保護司活動の環境整備については、総務省行政評価局からも勧告を受けており、「保護司の報告書作成・提出の情報技術の活用」については、ICTの活用が考えられており専用ホームページの準備が始まっています。「自宅以外の面接場所の確保」については、既に一部の地区で行われている公共施設等の一時的借用を検討しており、これについては現在実施しているアンケート結果を見て具体的な対応方針を決めたいと考えております。「複数指名」の積極的活用も引き続き積極的に検討してまいります。

保護司適任者の確保には、保護司を取り巻く環境の改善整備と保護司の辞退事由の解消が不可欠です。今後も皆様の  
お力添えを  
得ながらこ  
れらの問題  
に取り組ん  
で参ります。



更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

★理事会・評議員会開催

ホテルメトロポリタン秋田において、3月16日及び4月21日に理事会を開催しました。前者では令和3年度事業計画・収支予算について、後者では令和2年度事業成績・収支決算・経理規程について議案審議され、いずれも全会一致で承認されました。なお、3月12日・4月26日評議員会が開催され、いずれの議案も承認されました。

★理事の交代(令和3年7月1日)

新野 建臣(就任)  
柳沢 和子(辞任)

★評議員の交代(令和3年7月1日)

(新任)  
渡邊 清明 渡辺 一郎  
草薙 光 米谷 民憲  
煤田 隆一 畠山 裕  
(辞任)  
新野 建臣 佐々木晋太郎  
千葉 恵美 川島 善道  
池田 和男 阿部 照芳



令和2年度 秋田県更生保護援護協会収支決算

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入総額 7,438,205円 支出総額 6,917,870円

収入の部

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 決算額. Rows include 補助金等収入, 寄附金収入, 財産収入, 会費収入, 雑収入, and 合計.

支出の部

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 決算額. Rows include 一時保護事業, 連絡助成事業, 管理費, 予備費, and 合計.

令和3年度事業計画書(抄)

運営に関する事項  
1 コロナ禍において社会の分断や格差の広がり、経済や雇用情勢にも不透明感があるが、安全で安心して暮らせる社会の実現に寄与するために、県民への更生保護事業の重要性や意義を図る。  
2 更生保護事業の推進を図るため、役職員の協力を得て、更生保護事業について広報・宣伝し、賛助会費及び篤志寄付者の発掘と維持に努め、安定した財源の確保に努める。

篤志者寄附金の御芳名

令和3年1月以降にご寄附を寄せられた方は、次のとおりとなっております。厚くお礼申し上げます。

一金 四十万円

ユーアイビルサービス 小畑 悟様

一金 三十万円

秋田銀行様

一金 二十万円

村岡 兼幸様  
加賀谷文秋様  
細谷 重直様  
小熊 良悦様  
田口 昭一様  
和田 昭一様  
清水 重輝様  
沢木 則明様  
辻 良之様  
齊藤 満様  
布谷 博様  
大内 睦子様  
尾形 和雄様  
田代 苑子様

一金 十万円

渡邊 清明様 八島 國雄様  
浄土宗保護司会秋田教区支部様

一金 三万円

曹洞宗保護司会秋田県支部様

\*当協会運営に対しましてご寄附を戴きました皆様、また普通会员・賛助会員の方々にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

秋田県保護司会連合会

令和3年度事業計画書(抄)

1 基本計画

秋田保護観察所の指導のもと、各地区保護司会と緊密に連携し、コロナ禍における更生保護の活動の在り方を模索し、効果的な事業の推進に努める。また、「世界一安全な国、日本」の実現に向け、再犯防止について官民の総力を挙げた取組が推進されるよう努める。

2 重点目標

- (1) 保護司の安定的確保と、保護司活動の一層の充実を図り、対策強化の取組をすべく、地域の関係団体等との連携を密にする。
- (2) 地方公共団体における「地方再犯防止推進計画」の策定の実施と、運用に協力し、各団体との関係を強化する。
- (3) 各地区「更生保護サポートセンター」のICT(情報通信技術)化を促進し、保護司活動の充実を図る。

退任のご挨拶



秋田県保護司会連合会  
前会長 柳沢 和子

退任に寄せて一言綴らせていただきますと、これまで秋田保護観察所、各地区保護司会会長様、加えて更生保護関係機関の多くの方々からご助力と一方ならぬご支援を賜わりながら退任の日を迎えることができました。ことに、心から感謝を申し上げます。例えば、元号が令和となった年に会長着任となりました時は、誠に感慨深く重責を感じました。間もなくして東北大会（宮城県）において、秋田県が次期開催県であるので歓迎を表現する一策として、壇上で菊地書記と県南・県北・県央の副会長が郷土の方言で申し上げたところ、会場から大きな拍手を頂いたことは思いのひとつとなりました。あれを思い、これと思うと、誠に感慨無量のものがあり謝意のほかありません。結びに、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして今後とも指導のほどお願い申し上げます。

就任のご挨拶



秋田県保護司会連合会  
会長 新野 建臣

この度六月十日付で柳沢和子会長の後任として秋田県保護司会連合会会長に就任致しました。もとより浅学菲才で任に耐うるか心もとないところがありますが、一生懸命がんばりますので、先輩の皆様、更生保護関係機関の皆様、各地区保護司の皆様には、これまでと同様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

さて当面は三つの課題に取り組みたいと考えています。①再犯防止については秋田県の計画も策定されたいよいよ動き出しましたが、これからは市町村レベルでも取り組みの成果が上がるよう、協力して参りたいと思います。②更生保護サポートセンターの積極的活用。機能の強化と地域に開かれたセンターの構築。③保護司の安定的確保については各地区保護司会の総力を傾けて実現したいと思います。

秋田保護観察所所長様はじめ皆様のご支援をいただいで課題を実現したいと念願しています。



6月29日に退任保護司座談会が開催されました。

役員名簿

(令和3年6月10日現在)

秋田県保護司会連合会

顧問	目黒 勳	秋 田
顧問	宮原 文彌	大 館
顧問	柳沢 和子	秋 田
会 長	新野 建臣	潟上湖東
副会長・理事	今野 幸悦	大 曲
副会長・理事	高桑 和雄	男 鹿
副会長・理事	藤原 徳義	大 館
常務理事	金山 智紀	秋田(中央支部)
理 事	渡邊 清明	秋 田
理 事	渡辺 一郎	秋田(東支部)
理 事	草 彌 光	秋田(臨港支部)
理 事	米谷 民憲	潟上湖東
理 事	煤田 隆一	能 代
理 事	長岐 直介	北 秋 田
理 事	畠山 裕	鹿 角
理 事	村山 正顕	本 荘
理 事	菅 永義	横 手
理 事	齊藤 茂美	湯 沢
理 事	桃園 豊弘	角 館
理 事	清水 洋子	能 代
理 事	佐々木 加奈子	角 館
監 事	由 利 均	男 鹿
監 事	佐藤 道幸	本 荘

ホゴちゃん着ぐるみ  
貸し出しします！

是非ともご利用ください。



お問い合わせは県保連事務局菊地まで

秋田県更生保護女性連盟

会員数 令和三年四月一日現在

二十四地区 一七四九人

★秋田県更生保護女性連盟総会

六月一日アトリオンにて第一回委員会を開催し、昨今のコロナ禍状況を鑑み出席者の了承の上、引き続き令和三年度総会を執り行い無事終了、新年度をスタートさせることができました。

依然として「自由に集まらない」状態は続いております。しかし、これを嘆いているのではなく日頃の更女活動を振り返り学び直すチャンスと捉え、地域共生社会の重要な一員としてアンテナを張り、ほっとけない精神で更生保護の心を紡いで参ります。

★五十八回

「日本更生保護女性の集い」

六月八日、法曹会館にて開催される予定でしたが、コロナ禍で中止になりました。

次の方々が今年度表彰されました。

・法務大臣感謝状

(鹿角) 柳田 亮子

・日本更生保護女性連盟会長表彰

(藤里) 加藤満喜子

(秋田) 石黒かほる

(協和) 山谷 牧子

七月十六日ホテルメトロポリタン

秋田にて伝達式

★今後の行事予定

◎東北地方更生保護女性会員研修会

九月十六日(リモートにて担当

青森県)

現代医学の力と人類の英知でコロナ感染症が収束し、皆様と笑顔で再会できる日が一日でも早く訪れます事を心から待ち望んでおります。

秋田至仁会

AED講習会の実施

令和三年四月十五日(木)、当会会議室において秋田市城東消防署職員二名の指導の下、同年三月下旬に購入したAED使用方法の講習会を実施した。参加者は、当会常務理事、及び職員七名、それから、緊急時にはAEDを地元町内会に貸し出すため、町内会からも一名参加した。初めに、講師がAED訓練人形を使ってデモンストレーションを行い、その後、参加者が一名ずつ講師の指導を受けながら、胸骨圧迫の心臓マッサージとAEDを使った実技訓練を行った。講師から、救急隊が到着するまでに、心臓マッサージを続けることで生存率が上がることや、AEDが自動で心房細動を感知し、電気ショックの必要の有無を判断するこ



熱心に講習を聞く職員



となどが説明された。また、二次災害にならないよう周囲の安全確認や血液等の感染から自分の身を守ることも指導を受けた。

秋田県BBS連盟

★東北地方BBS連盟理事会

四月三日、オンラインで開催。三浦事務局長が出席し、今年度の事業計画、予算等について協議した。役員改選が行われ、地連理事に菅原県連会長(留任)、地連監事に竹中県連副会長(留任)が選出された。

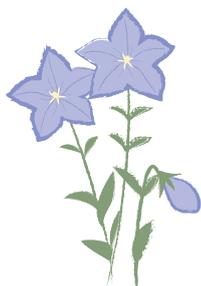
★特定非営利活動法人日本BBS連盟総会

書面表決。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面表決とされた。

★秋田県BBS連盟総会

五月一日、オンラインで開催。今年度の事業計画、予算等について協議した。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と、会員及び関係機関の皆様のご健康を心より祈念申し上げます。



秋田県就労支援事業者機構

令和3年度の総会につきましては、社会情勢を考慮して、今年度も書面表決での開催となりました。総会では役員の変更についても審議され、7月1日付けで、理事の西村紀一郎氏、阿部照芳氏が退任され、新たに安井信英氏、浅石敏明氏が理事に就任されましたのでお知らせいたします。

また、当機構の活動の活性化に向けた方策を検討すべく、会長以下三役を参集しての三役会議を開催し、ここ数年実績が低調であった給与支払い助成の在り方について検討を行い、新しい形の助成「お試し雇用」を開始することに決定いたしました。

これは、フルタイムの勤務を目指す保護観察所の就労奨励金制度になじまない短時間短期間の雇用に対し、当機構から助成金を支払うというものです。

就労経験が乏しく、いきなりフルタイムの勤務を目指すにはハードルが高いと思われる保護観察対象者等に対し、短時間短期間の就労を体験することにより、就労に向けた動機付けをはかることを目的としており、雇用主(二種会員・三種会員)が支払った賃金等の一部を助成するというものです。

今後、就労支援事業の活性化に努めてまいりますので、当機構の活動への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

秋田保護観察所人事異動

(令和三年四月一日付)

転入

所 長 山田 通晴 (仙台観・次長)

統括保護観察官 石橋 大輔 (函館観・統括保護観察官)

主任保護観察官 柿崎 敦 (青森観・主任保護観察官)

社会復帰調整官 長谷部 泰史 (盛岡観・社会復帰調整官)

庶務係 金子 奈央 (新規採用)

転出

所 長 佐々木 康志 (近畿地方更生保護委員会委員)

統括保護観察官 葛西 史子 (山形観・統括保護観察官)

保護観察官 相馬 真一郎 (東北地方更生保護委員会委員事務)

局保護観察官 (盛岡観・社会復帰調整官)

退職

社会復帰調整官 下野 共致 (盛岡観・社会復帰調整官)

保護観察官 廣瀬 直子

転入者のあいさつ



統括保護観察官 石橋 大輔

また秋田で勤務する機会をいただき、ありがとうございました。秋田県の更生保護関係者の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

さて、私はパパヘラアイスに代表される水菓が大好物ですが、糖分と体重が気になる年頃になったこともあり、最近では食べる量を減らし、健康的な食べ物に乗り換えようとしています。しかしながら、目が行くのは、甘いものばかりで、なかなかうまくいきません。

健康と仕事の両立を目指していきたいと考えている今日この頃です。



主任保護観察官 柿崎 敦

令和3年4月の異動により青森保護観察所から転勤して参りました。秋田保護観察所での勤務は1年ぶりですが、皆様から「おかえり」の暖かい御挨拶をいただき感謝しております。

秋田での企画調整課業務は初めてで、不安も大きいのですが、皆様と仕事に取り組める喜びも感じています。至らないところも多々ありますが、秋田県の更生保護事業のため尽力して参りたいと思っておりますので、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い致します。



社会復帰調整官 長谷部 泰史

このたびの人事異動により盛岡保護観察所から転任して参りました長谷部と申します。

これから秋田県の風土や特色に触れ、皆様と交流させていただきながら、業務に携わることができればと考えております。

更生保護、医療及び保健福祉等の関係者としてより良くつながり、安心、安全な社会づくりに貢献できればと思います。

初めての単身赴任となりますが、美の国あきたの食を楽しみに生活します。御指導、御鞭撻の程、宜しくお願い致します。



庶務係 金子 奈央

4月から秋田保護観察所で働くことになりました。

出身も育ちも関東で、今回ご縁があり、秋田県に配属になりました。大学では、社会福祉学を専攻し、更生保護の世界に興味をもったことが、本職を目指すきっかけとなりました。

慣れないことも多いですが、学生時代から目指した保護観察官に合格し、4月から法務事務官として働けるようになり、目指した頃と同じく、謙虚に仕事に励んでいけたらと思います。

社会人として日が浅く、何かと未熟ですが、何事もしっかりと知識を吸収していき、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

# 第71回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

秋田県推進委員会



### 実施要綱

すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築こうとするものです。

### この運動が目指すこと

- ①犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと
- ②犯罪や非行をした人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えること

### この運動において力をいれて取り組むこと

- ①犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、再犯を防止することの大切さや、更生保護の活動について、デジタルツールも活用するなどして、広く周知し、理解を深めてもらうための取組
- ②犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りには様々な協力の方法があることを示し、多くの人に協力者として気軽に参加してもらうための取組
- ③保護司、更生保護女性会会員、BBS会員、協力雇用主等の更生保護ボランティアのなり手を増やすための取組
- ④民間協力者と地方公共団体と国の連携を強化しつつ、犯罪や非行をした人が、仕事、住居、教育、保健医療・福祉サービスなどに関し必要な支援を受けやすくするためのネットワークを作る取組
- ⑤犯罪や非行が起こらないよう、若い人たちの健やかな成長を期する取組



広報活動



桃園会長さんお疲れ様でした！

角館地区保護司会  
角館高校生徒入口前での「社明活動」

7/6



「ホゴちゃん」と秋田警察犬「梅ちゃん」と

鹿角地区保護司会（いとく店頭）

7/1

一筆啓上

東京2020オリンピック

聖火ランナーに参加して

更生保護法人秋田県更生保護協議会

理事長 小畑 悟



六月九日快晴のもと、高鳴る鼓動を抑えながら潟上市の第二走者として総合格闘家の桜庭和志さんから聖火を引継ぎ、セキユリテイルランナー先導のもと約200mを沿道の声援を受け、緊張感と、次



多くの沿道の応援を受けて



第三者走者へ聖火を繋げて

した。トーチは思ったよりも重く、それでもしっかりと握りしめ次へと聖火を繋ぐことができました。一人では聖火リレーランナーとして走りきることは出来なかつたと思います。沿道の方の応援や裏方でセッティングされたボランティアやスタッフに感謝しています。本来ならば去年の同じ日に予定されていた聖火リレーでしたが、新型コロナウイルス蔓延のため二年延期となり東京五輪は開催されるのか不安な状況に置かれてこの日を迎えました。この機関紙が発行される頃には日本中が歓喜に包まれ最高の舞台になっていることを思い描き、全国で聖火リレーを繋いだ一人として感動に浸っていることだろう。

秋田保護観察所

令和3年度

秋田保護観察所重点項目

- 1 満期釈放者に対する社会復帰対策の積極的な実施
- 2 CFPを活用した実効性のある保護観察処遇の推進
- 3 若年者を中心とした保護司適任者確保の推進
- 4 地域社会の安全・安心に貢献する更生保護の推進
- 5 犯罪被害者等の思いに応える被害者等施策の推進
- 6 医療観察制度の対象者の円滑な社会復帰の促進



更生保護行政における組織理念

(使命)

私たちは、犯罪や被害行為をした人の再犯・再被害を防止し、その改善・社会復帰を支援するとともに、人が人を支える地域のネットワークを更に広げ、安全・安心な地域社会、そして、「誰一人取り残さない」共生社会の実現を目指します。

(行動指針)

- 1 私たちは、法令を遵守するとともに、個人の尊厳と人権を尊重し、地域社会における処遇の主宰者であるという自覚の下、常に自己研鑽に努めるとともに、組織としての使命を全うするため、個々の持てる力を結集して職務を遂行します。
- 2 私たちは、犯罪や被害行為をした人が、いずれは地域社会の一員として社会復帰できるよう、一人ひとり真剣に向き合い、粘り強く処遇します。
- 3 私たちは、事件によって被害を受けた方々の実情を真摯に受け止め、再犯・再被害によって新たな被害を生まないよう取り組むことはもとより、あらゆる職務の遂行が、被害からの回復に資するものとなるように努めます。
- 4 私たちは、刑事司法関係機関と緊密な連携を図り、責任を持って刑事司法手続の一翼を担うとともに、保護司を始めとする民間の更生保護関係者への感謝と敬意を持ち、充実した協働態勢を構築し、共に行動します。
- 5 私たちは、地域社会の関係機関・団体と信頼によりつながり、これら機関・団体との行動連携において自らの役割と責任を果たすとともに、安全・安心な地域社会の実現のため、より多様かつ広範なネットワークの構築に努めます。

栄誉に輝く  
叙勲・褒章

春の叙勲・褒章

(令和三年四月二十九日)

令和三年度春の叙勲及び褒章を受けられました。永年の御功労・御功績により受章されました皆様からお祝いを申し上げます。

(敬称略)



川島善道  
(潟上湖東保護区)

叙勲

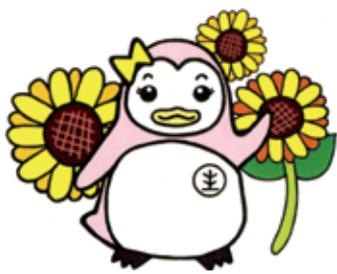
(更生保護功労)



渡邊富美  
(秋田保護区)

藍綬褒章

(更生保護功績)



保護司の異動

依願解嘱

(令和3年1月31日付)

佐藤宗男(湯沢)

(令和3年3月31日付)

櫻田慎一郎(秋田(東))

(敬称略)



8月4日 渡邊富美保護司への藍綬褒章伝達  
(秋田保護観察所所長室にて)



8月3日 川島善道保護司への叙勲伝達  
(秋田保護観察所所長室にて)

任期満了(令和3年6月30日付)

次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。(敬称略)

- 小坂 一明(男鹿)
- 和田 克郎(大館)
- 小林 民子(北秋田)
- 金津 善成(本荘)
- 國安 大智(横手)

新任(令和3年7月1日付)

次の方々が委嘱されました。よろしく願います。今後の御活躍に期待します。(敬称略)

- 岩橋 薫(秋田(東))
- 関 淑和(秋田(東))
- 佐藤 康直(秋田(東))
- 船木 勇一(秋田(東))
- 森合 和美(秋田(東))
- 小松 伊太郎(秋田(中央))
- 藤枝 隆博(秋田(中央))
- 伊藤 充子(秋田(臨港))
- 保坂 祐(秋田(臨港))
- 細川 信二(秋田(臨港))
- 三浦 秋(秋田(臨港))
- 伊藤 智弘(男鹿)
- 工藤 克弥(能代)
- 鈴木 美弥(能代)
- 熊谷 宏美(大館)
- 川口 祐泉(鹿角)
- 児玉 祐宏(本荘)
- 鈴木 圭樹(横手)
- 佐藤 恵子(横手)
- 佐野 司(横手)

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。ここに第七十四号をお届けいたします。コロナウイルスの影響でお互い会い合う機会が少なくなりました。

典座教訓の中に以下の言葉があります。「山僧、天童に在りし時」「本府の用典座、職に充てりき。予、因みに齋罷つて、東廊を過ぎ超然齋の路に赴くついでに、典座仏殿前に在つて苔を晒す。手に竹杖を携え、頭に片笠無し。天日熱し、地輒熱す。汗流徘徊すれども、力を励まして苔を晒す。稍苦辛を見る。背骨弓の如く。龍眉鶴に似たり。山僧近前して便ち典座の法寿を問う。座曰く、六十八歳。山僧曰く、如何ぞ行者人工を使わざる。座曰く、扨は是語にあらず。山僧曰く、老人家如法なり。天日、且つ恁くの如く熱す。如何ぞ恁地なる。座曰く、更に何の時をか待たんと。山僧便ち休す。廊を歩する脚下、潜かにこの職の機要を覚う。」

編集委員

- 櫻田 元宏(編集委員長)
- 加賀谷文秋 金山 智紀
- 北林 暢子 伊藤 妙子
- 島山 清寿 柿崎 敦
- 菊地 皆美

- 土田 晃(横手)
- 小松 正幸(大館)
- 高橋 久也(大館)
- 逸見 博幸(大館)